

平成 28 年度第 3 回 京都市市民参加推進フォーラム 摘録

■開催日時：平成 28 年 11 月 9 日（水） 午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分

■開催場所：中京区役所 4 階 第 1 会議室

■議題：

(1) 京都市市民参加推進計画の推進に関する成果や課題等の分析

- 1 分析の概要を全体で確認
- 2 部会毎に各事業についてヒアリング
- 3 部会毎に各事業の分析作業と、今後の公表の方針について議論
- 4 全体共有

(2) 平成 28 年度第 1 回市民公募委員サロンの開催報告

■公開・非公開の別：公開

■出席者

市民参加推進フォーラム委員 14 名

荒木委員，太田委員，兼松委員，川島副座長，桜井委員，芝原委員，杉山委員，竹内副座長，津田委員，樋口委員，松下委員，壬生座長，宮西委員，吉川委員

【傍聴者】

1 人

【特記事項】

動画共有サイト YouTube（ユーチューブ）による会議のインターネット中継を実施

【議事内容】

1 開 会

<事務局>

定刻となったので、ただいまから、「京都市市民参加推進フォーラム」平成 28 年度第 3 回会議を開催する。

本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

私は、本日の進行を務める、京都市総合企画局総合政策室創生戦略・市民協働推進部長の松野でございます。

はじめに、委員の欠席について報告させていただく。内田委員が御都合により御欠席、竹内委員は遅れて御出席との御連絡をいただいている。現時点で、委員総数 15 名中 13 名の委員が御出席ということで、出席委員が過半数を超えており、本会議は成立している

ことを報告する。

なお、本日の会議については、公開とするとともに、インターネット上の動画配信サービスである「ユーチューブ」を利用した生中継を行うので、御了承いただきたい。

また、今回、委員の顔ぶれが変わりますので御紹介したい。京都新聞社論説委員の水腰様が9月いっぱい御転勤となり、委員を辞退された。後任として、10月1日付けで、同じく京都新聞社論説委員の松下亜樹子委員に御就任いただいている。松下委員に、一言御挨拶をいただきたい。松下委員、お願いいたします。

<松下委員>

(挨拶)

<事務局>

以後の議事については、壬生座長にお願いする。

<壬生座長>

本日は、今年度フォーラムに任せられた重要な案件のひとつである、「第2期市民参加推進計画改定版」の進行管理の手段として、前回の会議で選定された2つの事業について、その担当課に取組状況などをヒアリングする予定である。限られた時間で進めなければならないので、集中して取り組んでいただきたい。また、各事業については、市民参加の良い部分を見つけていき、京都市の他の部局にも伝えていける報告書を作成したいと考えている。まずは、本日の議題及び報告の流れについて事務局から説明をお願いする。

<事務局>

議題は、「市民参加推進計画の推進に関する成果や課題の分析」と「先日開催した公募委員サロンの開催報告」の2つ。

資料は1～4まであり、資料2は部会ごとに資料2-1と資料2-2がある。次に参考資料は、配席図、フォーラム委員名簿、前回の会議摘録の3点。最後に、部会で使っていただく為のA3サイズのシートをつけている。

2 議題

議題（1）京都市市民参加推進計画の推進に関する成果や課題等の分析

<壬生座長>

「議題（1）京都市市民参加推進計画の推進に関する成果や課題等の分析」について、資料1を事務局から説明をお願いする。

<事務局>

(資料1「京都市市民参加推進計画の推進に関する成果や課題等の分析について」の説明)
略

<壬生座長>

各部会の部会員については、皆様からの御希望をお聞きしたうえで、副座長・事務局と協議のうえ、資料1の6「部会の内訳」とおり分けさせていただいたので、よろしくお願ひしたい。

また、それぞれの部会では、部会長を置き、議論の取りまとめや報告書の作成をお願ひしたい。全体のバランスと、今後それぞれの部会の要になっていただくことも踏まえ、川島・竹内両副座長に、部会長となつていただきたいと考えているが、御意見はあるか。

(異議の声なし)

<壬生座長>

それでは、皆様に御承知いただいたので、各部会の部会長を、川島副座長、竹内副座長にそれぞれお願ひする。

ここままで、質問や意見があれば伺いたい。

(質問・意見なし)

<壬生座長>

では、時間も限られているので、これからすぐに部会へ別れ、各部会でヒアリング等をお願ひする。

=====

(部会へ別れ、各事業についてヒアリングと事業の分析作業の後、今後の公表の方針について議論。内容は部会の摘録を参照のこと。)

=====

<壬生座長>

それぞれの部会の議論について、御報告をお願ひする。

(第1部会は川島部会長が、第2部会は宮西委員と竹内副座長がヒアリング内容と分析の報告をした。)

略

<壬生座長>

本日のここまでの各部会でのヒアリングや、報告等を踏まえ、全体で共有しておくことや御質問・御意見などがあればお願いします。

(質問・意見なし)

<事務局>

本日の各部会の内容等については、事務局で取りまとめた資料を用意し、1月中旬頃予定している次回の会議で、各部会にて「分析結果の取りまとめ」として御議論いただく予定である。

議題(2) 平成28年度第1回市民公募委員サロンの開催報告

<事務局>

(資料3「平成28年度第1回市民公募委員サロン開催報告書」、資料4「平成28年9月公募委員サロンだより」について説明)

略

<壬生座長>

いま事務局から説明のあった内容について、御質問や御意見があればお願いしたい。

<芝原委員>

今回のサロンでは、とても多くの方に参加してもらえたと思う。この要因は何だと考えるか。今後の開催の際に参考としたい。

<事務局>

詳細が決まりチラシを作成する前に、日程と概要について、各所属から対象者へお知らせをしてもらった。その後、チラシを作成し、再度、対象者へ送付を依頼した。早めに周知できたことが、参加につながったと考えている。

そのほかに、個別の附属機関等の事務局へ連絡をしたことも、要因だと考えている。

<竹内副座長>

他の要因として、チラシに載っていた話題提供者を知っている人が、「この人がいるなら行ってみよう」と参加していた。

<樋口委員>

実施したことについて広めることも重要だと考えているが、この「公募委員サロンだより」は成果物として発表されているのか。

<事務局>

当日の参加者にお送りをしたほか、京都市のホームページにも掲載し、全職員にも周知をしている。

<竹内副座長>

座長と副座長には、事務局からの会議の資料案がいち早く届くのだが、これを見た川島副座長が大絶賛していた。

<川島副座長>

字だけで書いてあると見る気がなくなる方も多いと思うが、このように分りやすく、楽しい感じで書いていただけると良い。見ていただくことが一番大事だと思うので、すごく分りやすかったと思う。

<竹内副座長>

サロンについて、良かったということだけではなく、改善した方がいいことについても記載されている。

<壬生座長>

ここに、改善した方がいい点として挙げられていることなどは、次回の準備の際に、しっかりと考えていきたい。また、早めにお知らせするということが効果的であるということが分ったので、早めに日時を決め、早めに周知できるようにしたい。

4 閉会

■傍聴者の意見

<壬生座長>

これで、本日の議題は全て終了となる。皆さん、ありがとうございました。
傍聴の方から、コメント・感想をいただきたい。

<傍聴者>

分析第2部会の傍聴をしていた。すごくよく分って、面白かった。

「景観白書」の中に、一時期は盛んに耳にしたが最近聞かなくなっていた「市民共汗サポーター」の名称を見つけた。この記載の良いところは、市長が持つ法的権限の一部が市

民共感サポーターに委譲されていることを明記している点。以前は、元々あるものに名前をつけただけという印象を受けていたのだが、このように定義づけされ、制度が生きて広まっていけばいいと考える。

<壬生座長>

御指摘を、ありがとうございました。

<樋口委員>

ヒアリングのために来ていただいた二つの部署の方にもそれぞれ感想をいただきたい。

<景観政策課長>

普段、一所懸命取り組んでいる事業について、いろんな角度から見たときにはどのように見えるか、ということをお教えいただく機会となった。耳の痛い話もあったのだが、うまく直していきながら、充実させていきたいと感じた。どうもありがとうございました。

<土木管理課長>

みつけ隊アプリはマスコミにも取り上げていただき、滑り出しも上々だったが、できなかったこともあるのではとも思っていた。

本日、取り上げていただく中でとても誉めていただき、涙が出る思いで、ここまでやってきたことが、方向として良かったのだと思えた。すごく励みになる。今回お話しいただいたことを、事業に携わった他の職員にも伝えて、一層、市民との協働を進めていきたい。ありがとうございました。

■YouTube、ツイッターの反応について

<壬生座長>

ユーチューブ・ツイッターの発言状況はいかがか。

<事務局>

ユーチューブの中継は今4人の方に御覧いただいている。

ツイッターへの反応は、特になかった。

<事務局>

本日も熱心に御議論いただき、ありがとうございました。

今日いただいた御意見をふまえて、市民参加について、他の部局にも市民参加の取組を広めて、より良い市政運営に活かしていきたいと思いました。また、傍聴いただいたみなさんもありがとうございました。

<壬生座長>

本日はこれで閉会とさせていただきます。皆様、ありがとうございました。

以上